

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書

新旧対照表

「北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書（令和3年10月版）」を一部改定し、「北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書（令和4年10月版）」として、令和4年10月1日以後に入札する委託業務から適用する。

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																																																																																
<p>様式第1-6号</p> <p>1. 身分証明書交付願</p> <p style="text-align: center;">身分証明書交付願</p> <p style="text-align: center;">令和 年(〇〇〇〇年) 月 日</p> <p>(支出負担行為担当者) 様</p> <p style="text-align: center;">受託者 住所</p> <p style="text-align: center;">氏名</p> <p>業務番号 業務名</p> <hr/> <p>上記業務の実施に当たり、土地への立ち入りのため、法第 条 の規定に基づき身分証明書について、次のとおり交付願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">氏名</th> <th rowspan="2">生年月日</th> <th colspan="2">所 属</th> <th rowspan="2">作業名称</th> <th rowspan="2">作業期間</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>会社名</th> <th>住 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>S . .</td> <td>(株)</td> <td></td> <td></td> <td>R . . ~ R . .</td> <td></td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>注 1 「所属」欄は、会社名及びその住所を記載すること。 2 「作業期間」欄は、作業実施に必要な期間とする。 3 顔写真の提出については、別途協議による。</p>	氏名	生年月日	所 属		作業名称	作業期間	備考	会社名	住 所		S . .	(株)			R . . ~ R . .																																																										<p>様式第1-6号</p> <p>1. 身分証明書交付願</p> <p style="text-align: center;">身分証明書交付願</p> <p style="text-align: center;">令和 年(〇〇〇〇年) 月 日</p> <p>(支出負担行為担当者) 様</p> <p style="text-align: center;">受託者 住所</p> <p style="text-align: center;">氏名</p> <p>業務番号 業務名</p> <hr/> <p>上記業務の実施に当たり、土地への立ち入りのため、法第 条 の規定に基づき身分証明書について、次のとおり交付願います。</p> <p style="text-align: center;">記</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse; margin-top: 10px;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">氏名</th> <th rowspan="2">生年月日</th> <th colspan="2">所 属</th> <th rowspan="2">作業名称</th> <th rowspan="2">作業期間</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>会社名</th> <th>住 所</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td></td> <td>S . .</td> <td>(株)</td> <td></td> <td></td> <td>H . . ~ H . .</td> <td></td> </tr> <tr><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td><td> </td></tr> </tbody> </table> <p>注 1 「所属」欄は、会社名及びその住所を記載すること。 2 「作業期間」欄は、作業実施に必要な期間とする。 3 顔写真の提出については、別途協議による。</p>	氏名	生年月日	所 属		作業名称	作業期間	備考	会社名	住 所		S . .	(株)			H . . ~ H . .																																																										<p>II-1-25 (II-25) ■業務実態を踏まえた変更</p>
氏名			生年月日	所 属				作業名称	作業期間	備考																																																																																																																																								
	会社名	住 所																																																																																																																																																
	S . .	(株)			R . . ~ R . .																																																																																																																																													
氏名	生年月日	所 属		作業名称	作業期間	備考																																																																																																																																												
		会社名	住 所																																																																																																																																															
	S . .	(株)			H . . ~ H . .																																																																																																																																													

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
Ⅱ 調査業務共通仕様書 2 地質調査	Ⅱ 調査業務共通仕様書 2 地質調査	
<p>2-3 弾性波探査 2-3-5 成果品 提出する成果品は、次のとおりとする。なお、解析図については、下記縮尺図の他、与えられた図面についても作図するものとする。</p> <p>(1) 調査報告書 (解析業務を伴う場合は、工事に対する意見を付して納品する。)</p> <p>(2) 測線配置図 S=1/1,000 (3) 岩盤等高線図 S=1/1,000 (4) 走時曲線図 S=1/250~1/500 (5) 解析断面図 S=1/250~1/500 (6) 測定記録一式</p>	<p>2-3 弾性波探査 2-3-5 成果品 提出する成果品は、次のとおりとする。なお、解析図については、下記縮尺図の他、与えられた図面についても作図するものとする。</p> <p>(1) 調査報告書 (解析業務を伴う場合は、工事に対する意見を付して印刷製本するものとする。)</p> <p>(2) 測線配置図 S=1/1,000 (3) 岩盤等高線図 S=1/1,000 (4) 走時曲線図 S=1/250~1/500 (5) 解析断面図 S=1/250~1/500 (6) 測定記録一式</p>	<p>Ⅱ-2-5 (Ⅱ-34) ■施工実態を踏まえた変更</p>

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版				(旧) 令和3年10月版				頁 新(旧)	
2-11 地質調査関係成果品一覧表				2-11 地質調査関係成果品一覧表				II-2-25 (II-54) ■誤植	
2-1				3-1					
調査種別	成果品	部数	摘要	調査種別	成果品	部数	摘要		
地表地質踏査	調査報告書		記載事項は仕様書による	地表地質踏査	調査報告書		記載事項は仕様書による		
	地質平面図				地質平面図				
	地質断面図				地質断面図				
	ルートマップ		地表面現象を詳細に記入		ルートマップ			地表面現象を詳細に記入	
	代表的資料				代表的資料				
弾性波探査	調査報告書			弾性波探査	調査報告書				
	測線配置図		S = 1/1,000		測線配置図			S = 1/1,000	
	岩盤等高線図		S = 1/1,000 作成可能な場合		岩盤等高線図			S = 1/1,000 作成可能な場合	
	走時曲線図				走時曲線図				
	解析断面図				解析断面図				
	記録写真				記録写真				
	記録紙				記録紙				
地震探査野帳		様式-1	地震探査野帳			様式-1			
電気探査	調査報告書			電気探査	調査報告書				
	測線配置図		S = 1/1,000		測線配置図			S = 1/1,000	
	測線毎のρ-a曲線解析図				測線毎のρ-a曲線解析図				
	地質断面図				地質断面図				
	記録紙				記録紙				
	垂直・探査測定表		様式-3		垂直・探査測定表			様式-3	
	記録写真				記録写真				
	比抵抗分布平面図				比抵抗分布平面図				
	比抵抗断面図				比抵抗断面図				
	見掛比抵抗値分布図				見掛比抵抗値分布図				
ボーリング調査	調査報告書			ボーリング調査	調査報告書				
	平面図		調査孔を明示する		平面図			調査孔を明示する	
	柱状図		地質・土質調査成果電子納品要領（国土交通省・平成28年10月）による		柱状図			地質・土質調査成果電子納品要領（国土交通省・平成28年10月）による	
	地質断面図				地質断面図				
	孔内水位観測記録表		様式-5		孔内水位観測記録表			様式-5	
	ボーリング記録写真				ボーリング記録写真				
	コア一箱		岩の場合（箱の規格は様式-7による）		コア一箱			岩の場合（箱の規格は様式-7による）	
	標本箱（標本ビン）		土の場合		標本箱（標本ビン）			土の場合	
岩盤等高線図		作成可能な場合	岩盤等高線図			作成可能な場合			

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版				(旧) 令和3年10月版				頁 新(旧)
<u>2-2</u>				3-2				II-2-26 (II-55) ■誤植
調査種別	成果品	部数	摘要	調査種別	成果品	部数	摘要	
揚水試験	調査報告書			揚水試験	調査報告書			
	井戸台帳		平面図に調査孔を明示する		井戸台帳			平面図に調査孔を明示する
	各測定曲線図				各測定曲線図			
	解析計算経過資料				解析計算経過資料			
地すべり 地表地質踏査	調査報告書			地すべり 地表地質踏査	調査報告書			
	地質平面図				地質平面図			
	推定地質断面図		縦断、横断共		推定地質断面図			縦断、横断共
	岩石標本				岩石標本			
	オーガピットによる記録				オーガピットによる記録			
地すべり 地形測量調査	平面図		S = 1/500 ~ 1/1,000	地すべり 地形測量調査	平面図		S = 1/500 ~ 1/1,000	
	断面図		S = 1/100 ~ 1/1,000		断面図			S = 1/100 ~ 1/1,000
標柱観測	調査報告書		測定結果表一式を含む	標柱観測	調査報告書		測定結果表一式を含む	
	観測記録簿				観測記録簿			
	ベクトル図		定点とともに平面図に明示する		ベクトル図			定点とともに平面図に明示する
傾斜計	調査報告書			傾斜計	調査報告書			
	傾斜計解析計算表				傾斜計解析計算表			
	地盤傾斜変動図		様式-8		地盤傾斜変動図			様式-8
	日別移動量測定結果表				日別移動量測定結果表			
	地盤傾斜測定量計算表		様式-9		地盤傾斜測定量計算表			様式-9
	日平均傾斜変動量計算結果				日平均傾斜変動量計算結果			
	合成日平均傾斜変動量計算結果				合成日平均傾斜変動量計算結果			
	最大傾斜方向計算結果				最大傾斜方向計算結果			
	測定記録野帳		様式-10		測定記録野帳			様式-10
伸縮計	調査報告書			伸縮計	調査報告書			
	測定記録紙				測定記録紙			
	日別移動量測定結果表				日別移動量測定結果表			
	経日別積算移動量曲線図				経日別積算移動量曲線図			
	経日別歪量計算結果表				経日別歪量計算結果表			
	経日別歪量変化曲線図				経日別歪量変化曲線図			
	地盤伸縮変動図				地盤伸縮変動図			

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版				(旧) 令和3年10月版				頁 新(旧)
<u>2</u> -3				3-3				Ⅱ-2-27 (Ⅱ-56) ■誤植
調査種別	成果品	部数	摘要	調査種別	成果品	部数	摘要	
地中内部歪計	調査報告書			地中内部歪計	調査報告書			
	設置位置図		平面図に位置記入、柱状図にゲージの位置を記入		設置位置図			平面図に位置記入、柱状図にゲージの位置を記入
	測定値整理表		様式-11		測定値整理表			様式-11
	経日別・深度別歪量計算表		様式-12		経日別・深度別歪量計算表			様式-12
	経日別・深度別歪量変化表		様式-13		経日別・深度別歪量変化表			様式-13
	経日別・深度別累計歪量曲線図				経日別・深度別累計歪量曲線図			
	歪計測定記録野帳		様式-14		歪計測定記録野帳			様式-14
	歪柱状図				歪柱状図			
地下水追跡	調査報告書		平面図に採水地点・投入孔に番号を附して記入する	地下水追跡	調査報告書		平面図に採水地点・投入孔に番号を附して記入する	
	各採水点毎の時間濃度曲線				各採水点毎の時間濃度曲線			
	検出表		様式-15		検出表			様式-15
	地下水等速線図あるいは地下水流線図				地下水等速線図あるいは地下水流線図			
	調査平面図		採水地点・投入位置を明示する		調査平面図			採水地点・投入位置を明示する
下水垂直検層	調査報告書		調査孔を平面図に記入	下水垂直検層	調査報告書		調査孔を平面図に記入	
	地下水検層野帳				地下水検層野帳			
	地下水検層表		様式-16		地下水検層表			様式-16
	抵抗時間変化曲線				抵抗時間変化曲線			
	測定記録図		ポーリング記録図も併記		測定記録図			ポーリング記録図も併記
X線回折法	記録チャート		測定条件記入のもの	X線回折法	記録チャート		測定条件記入のもの	
	粘土鉱物の種類と同定した理由説明書				粘土鉱物の種類と同定した理由説明書			
地下水位計	調査報告書		平面図に調査位置を記入	地下水位計	調査報告書		平面図に調査位置を記入	
	水位変動図		歪計・伸縮計・傾斜計等の変動図の表も関連させる		水位変動図			歪計・伸縮計・傾斜計等の変動図の表も関連させる
	測定値解析一覧表				測定値解析一覧表			
	降雨量観測表				降雨量観測表			

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																																																																																																																																		
<p>2-12 地質調査様式(例)</p> <p>様式-1</p> <p style="text-align: center;">地震探査野帳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>年月日</td><td>令和 年 月 日</td><td>管理技術者名</td><td></td></tr> <tr><td>測定延長</td><td>(m)</td><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">爆発地点配置略図</td><td rowspan="5"></td></tr> <tr><td>使用機械</td><td></td></tr> <tr><td>測線名</td><td></td></tr> <tr><td>測点間隔</td><td>(m)</td></tr> <tr><td>爆発回数</td><td>(回)</td></tr> <tr><td>その他</td><td colspan="2"></td><td></td></tr> <tr><td>特記事項</td><td colspan="3"></td></tr> </table> <p>様式-2</p> <p style="text-align: center;">電気探査式地質調査記録野帳</p> <p>令和 年(〇〇〇〇年) 月 日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>所属</td><td></td></tr> <tr><td>氏名</td><td></td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>使用機種</td><td colspan="5" style="text-align: center;">測線及び測点配置略図</td></tr> <tr><td>測線名</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>測線延長</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>測点名</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>測定深度</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>記事</td><td colspan="5"></td></tr> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="3">作業時間</th> <th colspan="2">労務</th> </tr> <tr> <th>実測時間</th> <th>その他の時間</th> <th>累計時間</th> <th>技術員</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>本日</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </table>	業務名				年月日	令和 年 月 日	管理技術者名		測定延長	(m)	爆発地点配置略図		使用機械		測線名		測点間隔	(m)	爆発回数	(回)	その他				特記事項				所属		氏名		業務名						使用機種	測線及び測点配置略図					測線名						測線延長						測点名						測定深度						記事						種別	作業時間			労務		実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員	本日	時 間	時 間	時 間	人	人	時間	時 間	時 間	時 間	人	人	<p>2-12 地質調査様式(例)</p> <p>様式-1</p> <p style="text-align: center;">地震探査野帳</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="3"></td></tr> <tr><td>年月日</td><td>令和 年 月 日</td><td>管理技術者名</td><td></td></tr> <tr><td>測定延長</td><td>(m)</td><td rowspan="5" style="writing-mode: vertical-rl; text-orientation: upright;">爆発地点配置略図</td><td rowspan="5"></td></tr> <tr><td>使用機械</td><td></td></tr> <tr><td>測線名</td><td></td></tr> <tr><td>測点間隔</td><td>(m)</td></tr> <tr><td>爆発回数</td><td>(回)</td></tr> <tr><td>その他</td><td colspan="2"></td><td></td></tr> <tr><td>特記事項</td><td colspan="3"></td></tr> </table> <p>様式-2</p> <p style="text-align: center;">電気探査式地質調査記録野帳</p> <p>令和 年(〇〇〇〇年) 月 日</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>所属</td><td></td></tr> <tr><td>氏名</td><td style="text-align: right;">㊟</td></tr> </table> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <tr><td>業務名</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>使用機種</td><td colspan="5" style="text-align: center;">測線及び測点配置略図</td></tr> <tr><td>測線名</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>測線延長</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>測点名</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>測定深度</td><td colspan="5"></td></tr> <tr><td>記事</td><td colspan="5"></td></tr> <tr> <th rowspan="2">種別</th> <th colspan="3">作業時間</th> <th colspan="2">労務</th> </tr> <tr> <th>実測時間</th> <th>その他の時間</th> <th>累計時間</th> <th>技術員</th> <th>普通作業員</th> </tr> <tr> <td>本日</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> <tr> <td>時間</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>時 間</td> <td>人</td> <td>人</td> </tr> </table>	業務名				年月日	令和 年 月 日	管理技術者名		測定延長	(m)	爆発地点配置略図		使用機械		測線名		測点間隔	(m)	爆発回数	(回)	その他				特記事項				所属		氏名	㊟	業務名						使用機種	測線及び測点配置略図					測線名						測線延長						測点名						測定深度						記事						種別	作業時間			労務		実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員	本日	時 間	時 間	時 間	人	人	時間	時 間	時 間	時 間	人	人	<p>頁 新(旧)</p> <p>II-2-28 (II-57)</p> <p>■押印の廃止</p>
業務名																																																																																																																																																																																																				
年月日	令和 年 月 日	管理技術者名																																																																																																																																																																																																		
測定延長	(m)	爆発地点配置略図																																																																																																																																																																																																		
使用機械																																																																																																																																																																																																				
測線名																																																																																																																																																																																																				
測点間隔	(m)																																																																																																																																																																																																			
爆発回数	(回)																																																																																																																																																																																																			
その他																																																																																																																																																																																																				
特記事項																																																																																																																																																																																																				
所属																																																																																																																																																																																																				
氏名																																																																																																																																																																																																				
業務名																																																																																																																																																																																																				
使用機種	測線及び測点配置略図																																																																																																																																																																																																			
測線名																																																																																																																																																																																																				
測線延長																																																																																																																																																																																																				
測点名																																																																																																																																																																																																				
測定深度																																																																																																																																																																																																				
記事																																																																																																																																																																																																				
種別	作業時間			労務																																																																																																																																																																																																
	実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員																																																																																																																																																																																															
本日	時 間	時 間	時 間	人	人																																																																																																																																																																																															
時間	時 間	時 間	時 間	人	人																																																																																																																																																																																															
業務名																																																																																																																																																																																																				
年月日	令和 年 月 日	管理技術者名																																																																																																																																																																																																		
測定延長	(m)	爆発地点配置略図																																																																																																																																																																																																		
使用機械																																																																																																																																																																																																				
測線名																																																																																																																																																																																																				
測点間隔	(m)																																																																																																																																																																																																			
爆発回数	(回)																																																																																																																																																																																																			
その他																																																																																																																																																																																																				
特記事項																																																																																																																																																																																																				
所属																																																																																																																																																																																																				
氏名	㊟																																																																																																																																																																																																			
業務名																																																																																																																																																																																																				
使用機種	測線及び測点配置略図																																																																																																																																																																																																			
測線名																																																																																																																																																																																																				
測線延長																																																																																																																																																																																																				
測点名																																																																																																																																																																																																				
測定深度																																																																																																																																																																																																				
記事																																																																																																																																																																																																				
種別	作業時間			労務																																																																																																																																																																																																
	実測時間	その他の時間	累計時間	技術員	普通作業員																																																																																																																																																																																															
本日	時 間	時 間	時 間	人	人																																																																																																																																																																																															
時間	時 間	時 間	時 間	人	人																																																																																																																																																																																															

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版

様式-6 透水量試験表 令和 年(〇〇〇〇)年 月 日 天候 No.

調査名

ボーリング No.		試験区間深度 (m)		パッカー規格		流量計規格		作業開始時刻		管理技術者氏名 [㊟]
								作業終了時刻		
孔径 (mm)		試験区間長さ (m)		ポンプ規格		作業人員		試験時間		立会者所属氏名
								ボーリング工 人		
								普通作業員 人		

試験水圧 (kg/cm ²)	規定水圧	経過時間 (min)	透水量 (l/min)	試験前後の孔内水位 (m)	その他
		1 ()		前	
		2 ()		後	
		3 ()			
		4 ()			
		5 ()			
		6 ()			
		7 ()			
		8 ()			
		9 ()			
		10 ()			
			CC/sh		

(注) 1 ボーリングNo.の欄は、ボーリングNo.と同一孔の透水量試験回数記入する。
 2 試験水圧項目のうちゲージとは、透水量試験区間上端（パッカーから下端深度）から下向きに地下水面までの水圧柱を規定水位から差し引いたものである。たとえば地下水水位が試験区間上端まで5mあった場合で規定水位1Kg/cm²では、1Kg/cm²-0.5Kg/cm²となる
 3 経過時間の欄については、1分間(min)毎の透水量を記入する。
 4 透水量の欄のl/minは10分間についての平均値である。
 5 その他の欄には、湧水のある場合には水頭圧・湧水深度・湧水量等を測定し記入する。また、各水圧段階における試験中において急激に透水量が増大するような場合はその状況を詳細に記入する。

(旧) 令和3年10月版

様式-6 透水量試験表 令和 年(〇〇〇〇)年 月 日 天候 No.

調査名

ボーリング No.		試験区間深度 (m)		パッカー規格		流量計規格		作業開始時刻		管理技術者氏名 [㊟]
								作業終了時刻		
孔径 (mm)		試験区間長さ (m)		ポンプ規格		作業人員		試験時間		立会者所属氏名
								ボーリング工 人		
								普通作業員 人		

試験水圧 (kg/cm ²)	規定水圧	経過時間 (min)	透水量 (l/min)	試験前後の孔内水位 (m)	その他
		1 ()		前	
		2 ()		後	
		3 ()			
		4 ()			
		5 ()			
		6 ()			
		7 ()			
		8 ()			
		9 ()			
		10 ()			
			CC/sh		

(注) 1 ボーリングNo.の欄は、ボーリングNo.と同一孔の透水量試験回数記入する。
 2 試験水圧項目のうちゲージとは、透水量試験区間上端（パッカーから下端深度）から下向きに地下水面までの水圧柱を規定水位から差し引いたものである。たとえば地下水水位が試験区間上端まで5mあった場合で規定水位1Kg/cm²では、1Kg/cm²-0.5Kg/cm²となる
 3 経過時間の欄については、1分間(min)毎の透水量を記入する。
 4 透水量の欄のl/minは10分間についての平均値である。
 5 その他の欄には、湧水のある場合には水頭圧・湧水深度・湧水量等を測定し記入する。また、各水圧段階における試験中において急激に透水量が増大するような場合はその状況を詳細に記入する。

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
Ⅱ 調査業務共通仕様書 3 土質調査	Ⅱ 調査業務共通仕様書 3 土質調査	
<p>3-1 通 則</p> <p>3-1-2 調査の区分</p> <p>1. 原位置試験 土質調査 : オーガボーリング・ピートサンプリング 強度調査 : 標準貫入試験・<u>簡易動的コーン貫入試験・ポータブルコーン貫入試験・機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験・原位置ベーンせん断試験・スウェーデン式サウンディング試験</u></p> <p>乱さない試料採取 : <u>固定ピストン式シンウォールサンプラー(シンウォールサンプリング)・ロータリー式二重管サンプラー(デニソンサンプリング)・ロータリー式三重管サンプラー(トリプルサンプリング)</u></p> <p>その他の試験 : 孔内載荷試験・<u>現場密度測定(砂置換法)</u>・現場透水試験</p> <p>2. 土質試験 物理試験 : 土粒子の<u>密度試験</u>・含水<u>比</u>試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験 化学試験 : 強熱減量試験 力学試験 : <u>土の突固め試験</u>・圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・<u>現場</u>透水試験</p>	<p>3-1 通 則</p> <p>3-1-2 調査の区分</p> <p>1. 原位置試験 土質調査 : オーガボーリング・ピートサンプリング 強度調査 : 標準貫入試験・二重管式静的円スイ貫入試験・オランダ式円スイ貫入試験(2ton)・オランダ式円スイ貫入試験(10ton)・ベーン試験・スウェーデン式サウンディング試験</p> <p>乱さない試料採取 : シンウォールサンプリング</p> <p>その他の試験 : 孔内載荷試験・砂置換法による単位体積質量の測定・現場透水試験</p> <p>2. 土質試験 物理試験 : 土粒子の比重試験・含水量試験・粒度試験・液性限界試験・塑性限界試験 化学試験 : 強熱減量試験 力学試験 : 圧密試験・一軸圧縮試験・一面せん断試験・三軸圧縮試験・締固め試験・透水試験</p>	Ⅱ-3-3 (Ⅱ-72) ■JIS・JGSと整合
<p>3-3 サウンディング</p> <p>3-3-2 簡易動的コーン貫入試験</p> <p><u>1. 目的</u> 簡易動的コーン貫入試験は、斜面や平地における地盤表層部の動的な貫入抵抗を測定し、その硬軟若しくは支持力を判定することを目的とする。</p> <p><u>2. 試験等</u></p> <p>(1) 試験方法及び器具は、JGS1433 簡易動的コーン貫入試験 によるものとする。 (2) 貫入方法は鋼製ハンマーを自由落下させる方法とする。 (3) コーンに付着した土の観察、ロッドに付着した地下水位の状況、傾斜地作業では斜面の傾斜角度をできるかぎり記録するものとする。 (4) 試験中、目的の深度に達する前に礫などにあたり試験が不可能になった場合は、業務担当員と協議するものとする。</p> <p><u>3. 成果品</u></p> <p>(1) 調査位置案内図、調査位置平面図 (2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙、報告書用紙のJGS1433(簡易動的コーン貫入試験方法)に準拠して整理し提出するものとする。</p>	<p>3-3 サウンディング</p> <p>3-3-2 簡易貫入試験</p> <p>1. 簡易貫入試験は、作業上制約の多い急傾斜地等で、表層土の強度、密度等の相対的な変化を連続的に測定し、表層崩壊を発生させる可能性の高い土層の強度とその密度を把握するために行うことを目的とする。 2. 試験機は、(財)砂防・地すべり技術センターが定めた以下の規格に適合するものを使用するものとする。</p>	Ⅱ-3-5 (Ⅱ-74) ■JISへ仕様変更

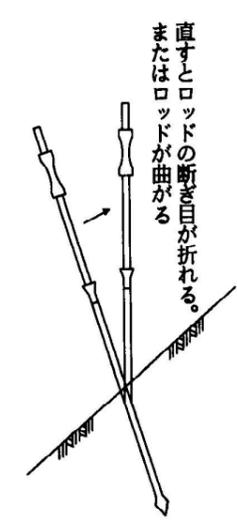
北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																												
<p style="text-align: right;">単位 mm</p> <p style="text-align: center;">図1-簡易動的コーン貫入試験機</p>	<table style="margin-left: auto; margin-right: auto;"> <tr> <td>① ロッドφ16×430mm</td> <td>1本</td> <td>⑥ 付属品</td> <td></td> </tr> <tr> <td>ロッドφ16×500mm</td> <td>9本</td> <td>・スパナ14mm</td> <td>2丁</td> </tr> <tr> <td>② ノッキングヘッド</td> <td>1個</td> <td>・パイプレンチ200mm</td> <td>2丁</td> </tr> <tr> <td>③ 貫入先端コーン</td> <td>2個</td> <td>・折尺1m</td> <td>1本</td> </tr> <tr> <td>④ ガイドロッドφ16×500mm</td> <td>1本</td> <td>・収納袋</td> <td>1袋</td> </tr> <tr> <td>ガイドロッドφ16×350mm</td> <td>1本</td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>⑤ ウェイト</td> <td>1個</td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p style="text-align: center;">図-1 構成図</p> <p style="text-align: center;">図-2</p> <p style="text-align: center;">図-3</p> <ol style="list-style-type: none"> ① ロッド 径16mmのものを10本、その内1本は長さ430mm、他のものは500mmである。各々に50mmピッチの目盛りがついている。 ② ノッキングヘッド 径40mm、厚さ15mm、長さ150mmで、上側にガイドロッド、下側にロッドを取りつけられるようになっている。(図-2参照) ③ コーン 径25mm、先端角60°の円錐形コーン(図-3参照) ④ ガイドロッド 径16mm、長さ350mmと500mmの2本からなり(全長850mm)この下端にノッキングヘッドがとりつけられるようになっている。組立は下部に500mmのガイドロッドをとりつけ、ウェイトの一定の落下高を確保するようになっている。 ⑤ ウェイト 5kgの質量で、中央部に径17mmの孔があいている。 ⑥ その他 ロッド引き抜き用の小型パイプレンチ2丁、ロッド継ぎ足し及び取り外し用のスパナ2丁、折尺、収納袋。 	① ロッドφ16×430mm	1本	⑥ 付属品		ロッドφ16×500mm	9本	・スパナ14mm	2丁	② ノッキングヘッド	1個	・パイプレンチ200mm	2丁	③ 貫入先端コーン	2個	・折尺1m	1本	④ ガイドロッドφ16×500mm	1本	・収納袋	1袋	ガイドロッドφ16×350mm	1本			⑤ ウェイト	1個			<p>頁 新(旧)</p>
① ロッドφ16×430mm	1本	⑥ 付属品																												
ロッドφ16×500mm	9本	・スパナ14mm	2丁																											
② ノッキングヘッド	1個	・パイプレンチ200mm	2丁																											
③ 貫入先端コーン	2個	・折尺1m	1本																											
④ ガイドロッドφ16×500mm	1本	・収納袋	1袋																											
ガイドロッドφ16×350mm	1本																													
⑤ ウェイト	1個																													

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
	<p>3. 試験方法</p> <p>(1) ノッキングヘッドの上面に、500mmのガイドロッド、その上に350mmのガイドロッドを取りつける。</p> <p>(2) ノッキングヘッドの下方に、長さ500mmのロッド、その下に430mmのロッドを取りつけ、その先にコーンをつける。コーン先端よりノッキングヘッドの取り付け部までの長さは、1000mmとなる。</p> <p>(3) ガイドロッドにウエイトをセットする。(図-1 参照)</p> <p>(4) 装置全体が鉛直(図-4 参照)になるように立て、その時の貫入深を測定。記録する。貫入深はノッキングヘッド下端取り付け部から、地上面までの間の長さを測定することによりロッド長からこの値を差し引いて求める。</p> <div style="text-align: center;"> </div> <p style="text-align: center;">図-4</p> <p>(5) 貫入深を測定する時は、貫入地点に径10cm程度の平地を作り、固定点をセットして、この点からノッキングヘッド下端取り付け部までの距離を測る。</p> <p>(6) ノッキングヘッド上面より500mmの所に、ウエイトの下面がくるようにウエイトを持ち上げた後、ガイドロッド沿いにウエイトを自由落下させる。</p> <p>(7) この操作を繰り返し、コーンが10cm程度貫入するまでウエイトの落下を続け、その時のコーンの貫入深と打撃回数を記録する。</p> <p>(8) これを繰り返し行い、ノッキングヘッドの地表からの高さが50cm程度になれば新しくロッドを継ぎ足し、測定を継続する。〔1回の継ぎ足し長さは原則として1本(50cm)とする。〕</p> <p>(9) ノッキングヘッドの高さは常に1m程度以上としないようにする。</p> <p>(10) 10回のウエイトの落下によって、コーンが2cm程度(Nc値50程度)しか貫入しなくなった場合、又は基岩に達し、貫入不能になった場合作業を打ちきる。</p> <p>(11) 試験中明らかに転石又は礫等のため、貫入不能になった場合、あるいは他の測点や付近の地盤の状況からみて、結果が不適と思われるような場合は、地点をずらせて再試験を行う。この場合ずらす距離は地盤の乱れを考え10cm以上とする。</p> <p>(12) 貫入時ロッドが曲がって入った場合、そのまま鉛直に直すようにせず、一度引き抜いてからやり直すこと。(図-5 参照)</p>	

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
	 <p style="text-align: center;">図-5</p> <p>4. 試験結果の記録と整理</p> <p>(1) 様式-9に示すような試験機記録用紙を用意するものとする。</p> <p>(2) ウエイトの落下は、コーンが約10cm程度貫入するまで続けて行い、これを1回の測定値として、この時の打撃回数と累計貫入量 (h) を記録するものとする。</p> <p>(3) 各累計貫入量からそれぞれの単位貫入量 (d cm) を求め、Nc換算表あるいは$N/d \times 10$の式から10cm貫入当たりの打撃回数になおしてNc欄に記入するものとする。</p> <p>(4) 縦軸に貫入深度 (h)、横軸にNcをとったグラフにhとその深さのNcの値をプロットし、貫入曲線を作成するものとする。</p> <p>(5) Nc値とは、径16mmのロッドの先端を径25mm、先端角60° のオーバーサイズの円錐形コーンにしたものを、5 kgのウエイトで50cm落下させることにより地盤中に貫入させ、この時のコーンを10cm貫入させるに要する打撃回数と定義する。(回/10cm)</p> <p>5. 試験箇所の明示</p> <p>試験箇所は平面図に明示するものとする。</p> <p>3-3-3 二重管式コーン貫入試験</p> <p>1. 目的</p> <p>二重管式コーン貫入試験は、軟弱地盤の原位置における土の静的貫入抵抗を測定し、土層の硬軟、締まり具合、又はその地盤構成を判定することを目的とする。</p> <p>2. 試験等</p> <p>(1) 試験用器具は、コーンの断面積20cm³程度、先端30°、プルーピングリング容量100kgの二重管式のポータブルコーンペネトロメーターを用いるものとする。</p> <p>(2) 本試験の実施中、試験機はたえず垂直に保持しなければならない。</p> <p>(3) 試験は、JIS A 1220 機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験方法 に準拠して行うものとする。</p>	

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
	<p>3. 成果品 提出する成果品は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 調査位置案内図、調査位置平面図</p> <p>(2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙及び報告用紙を使用して、JIS A 1220 機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験方法 に準拠して整理し提出するものとする。</p>	
<p>3-3-3 機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験</p> <p>1. 目的 機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験は、軟弱地盤の原位置に<u>おける土のコーン</u>貫入抵抗を測定し、土層の硬軟、締まり具合、又はその地盤構成を判定することを目的とする。</p> <p>2. 試験等 (1)～(2) (省略) (3) 試験中、目的の深度まで達する前に、<u>礫など</u>にあたり試験が不可能になった場合は、業務担当員と協議するものとする。</p> <p>3. (省略)</p>	<p>3-3-4 機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験</p> <p>1. 目的 機械式コーン(オランダ式二重管コーン)貫入試験は、軟弱地盤の原位置における土の静的貫入抵抗を測定し、土層の硬軟、締まり具合、又はその地盤構成を判定することを目的とする。</p> <p>2. 試験等 (1)～(2) (省略) (3) 試験中、目的の深度まで達する前に、<u>礫等</u>にあたり試験が不可能になった場合は、業務担当員と協議するものとする。</p> <p>3. (省略)</p>	<p>II-3-6 (II-78)</p> <p>■諸基準類との整合</p> <p>■諸基準類の改定に伴う変更</p>
<p>3-3-5 原位置ベーンせん断試験</p> <p>1. 目的 ベーン<u>せん断</u>試験は、泥炭・粘土等の軟弱地盤の土層の原位置における<u>地盤のせん断</u>強さを求めることを目的とする。</p> <p>2. 試験等 <u>(1) 試験方法及び器具は、JGS1411 原位置ベーンせん断試験方法 によるものとする。</u> <u>(2) ベーンブレードは長方形の4枚羽を十字型に組み合わせたものとし、高さHと幅Dの比が2.0の長方形を標準とする。ベーンブレードは、ベーンシャフトと平行に取り付けられ、かつ曲がりやゆがみのないものを用いる。</u> <u>(3) 回転ロッドにねじりを与えないようにして、ベーンを孔底から所定の試験深さまで押し込む。ベーンの押し込み速度は、20mm/sを超えない一定速度とし、可能な限り打撃や振動を与えずにまっすぐ地中に押し込む。ボーリング掘削した孔底からベーンを押し込んで試験する場合には、ボーリング孔底の5倍以上の長さまで押し込んだ後、試験を行う。押し込み式の場合、地表面から所定の試験深さの0.5～0.8m上まで、ベーンを保護管と共に地中に押し込み、さらにベーンのみを所定の試験深さまで押し込む。このとき、ベーン保護ケースからベーンブレード幅の5倍の長さ以上ベーンを押し出してから試験を行う。</u> <u>(4) 土を乱さない状態で試験開始し、ベーン押し込み後、5分以内にベーンを回転し、一定速度で回転させる。回転角の読取り間隔は2°以下とし、最大値が得られるまで試験を続け最大トルクT_{max}を求める。</u> <u>(5) ベーンブレードは、試験中に損傷してはならない。試験後、外観に損傷が確認された場合は業務担当員へ報告し、再試験の実施を検討する。</u></p>	<p>3-3-6 ベーン試験</p> <p>1. 目的 ベーン試験は、泥炭・粘土等の軟弱地盤の土層の原位置におけるせん断強さを求めることを目的とする。</p> <p>2. 試験等 (1) ベーン試験機はヒズミ制御型で、回転十字翼は幅5.5cm・高さ11cmのものを標準とする。 (2) ベーン試験機は、二重管式によるものとし、土層によっては、ボーリングと併行して実施するものとする。この場合、完全に清掃した孔底から約30cm下の深度において試験を実施しなければならない。ただし、ベーン試験の深度は十字翼の中央部の深度とする。 (3) 回転ロッドの圧入中及び圧入後に回転等を与えて試験箇所を土を乱してはならない。 (4) 十字翼は、毎秒約1度の割合で回転し、最大荷重が明らかになるまで回転角と荷重の関係を記録するものとする。</p>	<p>II-3-7 (II-79)</p> <p>■JISへ仕様変更</p>

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
<p><u>(6) 長方形ベーンを用いた場合、乱さない状態での土のベーンせん断強さS_{fv}を次式で算定する。</u></p> $S_{fv} = \frac{T_{max}}{\pi \left[\frac{D^2 H}{2} + \frac{D^3}{6} \right]}$ <p><u>ここに、S_{fv} : 乱さない状態での土のベーンせん断強さ (kN/m²)</u> <u>T_{max} : 乱さない状態での測定最大トルク (kN・m)</u> <u>D : ベーンブレードの幅 (m)</u> <u>H : ベーンブレードの高さ (m)</u></p> <p>3. 成果品 提出する成果品は、次のとおりとする。 (1) 調査位置案内図、調査位置平面図 (2) <u>試験結果は、JGS1411 原位置ベーンせん断試験方法 により整理し提出するものとする。</u></p>	<p>(5) ベーン試験によるせん断強さは次式によって求めるものとする。</p> $\gamma = \frac{M_{max}}{\pi \left[\frac{D_2 H}{2} + \frac{D^3}{6} \right]}$ <p>ここに、γ : せん断強さ (kg/cm²) M_{max} : 最大回転モーメント (kg/cm) D : 十字翼の幅 (cm) H : 十字翼の高さ (cm)</p> <p>3. 成果品 提出する成果品は、次のとおりとする。 (1) 調査位置案内図、調査位置平面図 (2) 深度とせん断強さの関係</p>	
<p>3-3-7 スウェーデン式サウンディング試験</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 試験等 (1)～(2) (省略) (3) 試験中、目的の深度まで達する前に、<u>礫など</u>にあたり試験が不可能になった場合は、業務担当員と協議するものとする。 (4) (省略)</p> <p>3. (省略)</p>	<p>3-3-7 スウェーデン式サウンディング試験</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 試験等 (1)～(2) (省略) (3) 試験中、目的の深度まで達する前に、礫等にあたり試験が不可能になった場合は、業務担当員と協議するものとする。</p> <p>3. (省略)</p>	<p>II-3-8 (II-80) ■諸基準類の改定に伴う変更</p>

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
<p>3-4 サンプリング</p> <p>3-4-1 乱さない試料採取</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 採取方法</p> <p>(1) <u>固定ピストン式シンウォールサンプラー (シンウォールサンプリング)</u>、軟弱な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法 によるものとする。</p> <p>(2) <u>ロータリー式二重管サンプラー (デニソンサンプリング)</u> は、中程度の硬質な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1222 ロータリー式二重管サンプラーによる土試料の採取方法 によるものとする。</p> <p>(3) <u>ロータリー式三重管サンプラー</u> は、硬質の粘性土、砂質土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1223 ロータリー式三重管サンプラーによる土試料の採取方法 によるものとする。</p> <p>3～4. (省略)</p>	<p>3-4 サンプリング</p> <p>3-4-1 乱さない試料採取</p> <p>1. (省略)</p> <p>2. 採取方法</p> <p>(1) シンウォールサンプリングは、軟弱な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1221 固定ピストン式シンウォールサンプラーによる土試料の採取方法 によるものとする。</p> <p>(2) デニソンサンプリングは、中程度の硬質な粘性土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1222 ロータリー式二重管サンプラーによる土試料の採取方法 によるものとする。</p> <p>(3) トリプルサンプリングは、硬質の粘性土、砂質土の試料を採取するもので、採取方法及び器具については、JGS1223 ロータリー式三重管サンプラーによる土試料の採取方法 によるものとする。</p> <p>3～4. (省略)</p>	<p>II-3-9 (II-80)</p> <p>■諸基準類との整合</p>
<p>3-5 その他の原位置試験</p> <p>3-5-4 現場透水試験</p> <p>1～2. (省略)</p> <p>3. 成果品</p> <p>提出する成果品は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 報告書 (試験箇所、深さ、試験方法、測定値)</p> <p>(2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙、報告書用紙の<u>JGS1614により</u>整理し提出するものとする。</p>	<p>3-5 その他の原位置試験</p> <p>3-5-4 現場透水試験</p> <p>1～2. (省略)</p> <p>3. 成果品</p> <p>提出する成果品は、次のとおりとする。</p> <p>(1) 報告書 (試験箇所、深さ、試験方法、測定値)</p> <p>(2) 試験結果は、地盤工学会記録用紙、報告用紙を使用して整理し提出するものとする。</p>	<p>II-3-11 (II-82)</p> <p>■独自様式から地盤工学会様式へ変更</p>
<p>3-12 様式及び表示記号</p> <p>3-12-1 様式</p> <p>様式は、調査項目に応じて、様式-1～様式-<u>8</u>によるものとする。</p> <p>3-12-2 表示記号</p> <p>1. 岩種及び土質分類による表示記号は、2-13 <u>ボーリング柱状図の作成・ボーリングコアの取扱い等</u>によるものとする。なお、試料図には必ず凡例を併記するものとする。</p> <p>2. (省略)</p>	<p>3-12 様式及び表示記号</p> <p>3-12-1 様式</p> <p>様式は、調査項目に応じて、様式-1～様式-9によるものとする。</p> <p>3-12-2 表示記号</p> <p>1. 岩種及び土質分類による表示記号は、2-13 ボーリング柱状図作成要領(案)によるものとする。なお、試料図には必ず凡例を併記するものとする。</p> <p>2. (省略)</p>	<p>II-3-14 (II-85)</p> <p>■誤植</p>

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版										(旧) 令和3年10月版										頁 新(旧)
様式-1 オーガボーリング ピートサンプリングによる土質柱状図										様式-1 オーガボーリング ピートサンプリングによる土質柱状図										Ⅱ-3-15 (Ⅱ-86) ■押印の廃止
調査名		年月日								調査名		年月日								
調査位置		標高								調査位置		標高								
		管理技術者										管理技術者								㊟
深 度 (m)	地下 水位 (m)	現場判定による			土 層 境 界 深 さ (m)	試料調査		観 察 事 項	深 度 (m)	深 度 (m)	地下 水位 (m)	現場判定による			土 層 境 界 深 さ (m)	試料調査		観 察 事 項	深 度 (m)	深 度 (m)
		柱 状 図	土 質 名	色 調		試 料 番 号	深 度					柱 状 図	土 質 名	色 調		試 料 番 号	深 度			
								<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する 										<ul style="list-style-type: none"> ・崩壊・湧水などのあった位置とその状況 ・土層の亀裂・埋木・転石などの大きさとその位置 ・その他気のついた点を詳細に記入する 		

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
Ⅱ 調査業務共通仕様書 4 地質・土質に関する解析・設計	Ⅱ 調査業務共通仕様書 4 地質・土質に関する解析・設計	
<p>4-2 総合解析とりまとめ 総合解析とりまとめの適用範囲は、次の各号に定めるところによる。 なお、ダム・トンネル・地すべり調査を除くものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 調査地周辺の地形・地質の検討 (2) 調査結果に基づく土質定数の設定 (3) 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 (4) 地盤の透水性の検討（現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合） (5) 調査結果に基づく基礎形式の検討（具体的な計算を行うものではなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討） (6) 設計・施工上の留意点の検討（特に、盛土や切土を行う場合の留意点の検討） <p style="color: red; text-decoration: underline;">成果品は、現地調査結果、ボーリング柱状図、地質又は土質断面図及び業務内容の検討結果を報告書としてとりまとめ提出するものとする。</p>	<p>4-2 総合解析とりまとめ 総合解析とりまとめの適用範囲は、次の各号に定めるところによる。 なお、ダム・トンネル・地すべり調査を除くものとする。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 調査地周辺の地形・地質の検討 (2) 調査結果に基づく土質定数の設定 (3) 地盤の工学的性質の検討と支持地盤の設定 (4) 地盤の透水性の検討（現場透水試験や粒度試験等が実施されている場合） (5) 調査結果に基づく基礎形式の検討（具体的な計算を行うものではなく、基礎形式の適用に関する一般的な比較検討） (6) 設計・施工上の留意点の検討（特に、盛土や切土を行う場合の留意点の検討） 	<p>Ⅱ-4-3（Ⅱ-95） ■諸基準類との整合</p>

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)																																																																																								
II 調査業務共通仕様書 5 骨材試験	II 調査業務共通仕様書 5 骨材試験																																																																																									
<p>5-1 通 則 5-1-2 管理試験 管理試験とは、下記の種類である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">試験の種類</th> <th style="width: 15%;">試 験 方 法</th> <th style="width: 5%;">試験回数</th> <th style="width: 65%;">1 試料当たりの試験個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>含 水 <u>比</u> 試 験</td> <td>JIS A 1203</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>ふるい分け試験</td> <td>アスファルト舗装要綱 JIS A 1102参照</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>最大粒径により 1回調整</td> </tr> <tr> <td>洗 い 試 験</td> <td>土木工事共通仕様書 JIS A 1103</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td><u>密 度 及 び</u> <u>吸 水 率 試 験</u></td> <td>JIS A 1109</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>すりへり <u> </u> 試 験</td> <td>JIS A 1110</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>使用する表により 1回分調整</td> </tr> <tr> <td>安 定 性 試 験</td> <td>JIS A 1121</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">" 1回分調整</td> </tr> <tr> <td>突 固 め 試 験</td> <td>JIS A 1122</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>締固め曲線をかけるだけの必要な個数(5~7点分) 3層 突固め回数各層</td> </tr> <tr> <td>修正 C B R 試 験</td> <td>JIS A 1210</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>19、42、92 各 3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>設計 C B R 試 験</td> <td>アスファルト舗装要綱</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>42、92各層67回 各 3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>火山灰の強熱減量 試験</td> <td>土木工事共通仕様書</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">" 3ヶ調整</td> </tr> </tbody> </table>	試験の種類	試 験 方 法	試験回数	1 試料当たりの試験個数	含 水 <u>比</u> 試 験	JIS A 1203	1	3ヶ調整	ふるい分け試験	アスファルト舗装要綱 JIS A 1102参照	1	最大粒径により 1回調整	洗 い 試 験	土木工事共通仕様書 JIS A 1103	1	3ヶ調整	<u>密 度 及 び</u> <u>吸 水 率 試 験</u>	JIS A 1109	1	2ヶ調整	すりへり <u> </u> 試 験	JIS A 1110	1	使用する表により 1回分調整	安 定 性 試 験	JIS A 1121	1	" 1回分調整	突 固 め 試 験	JIS A 1122	1	締固め曲線をかけるだけの必要な個数(5~7点分) 3層 突固め回数各層	修正 C B R 試 験	JIS A 1210	1	19、42、92 各 3ヶ調整	設計 C B R 試 験	アスファルト舗装要綱	1	42、92各層67回 各 3ヶ調整	火山灰の強熱減量 試験	土木工事共通仕様書	1	" 3ヶ調整	<p>5-1 通 則 5-1-2 管理試験 管理試験とは、下記の種類である。</p> <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th style="width: 15%;">試験の種類</th> <th style="width: 15%;">試 験 方 法</th> <th style="width: 5%;">試験回数</th> <th style="width: 65%;">1 試料当たりの試験個数</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>含 水 量 試 験</td> <td>JIS A 1203</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>ふるい分け試験</td> <td>アスファルト舗装要綱 JIS A 1102参照</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>最大粒径により 1回調整</td> </tr> <tr> <td>洗 い 試 験</td> <td>土木工事共通仕様書 JIS A 1103</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>比重吸水量試験</td> <td>JIS A 1109</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">2ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>すりへり減量試験</td> <td>JIS A 1110</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>使用する表により 1回分調整</td> </tr> <tr> <td>安 定 性 試 験</td> <td>JIS A 1121</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">" 1回分調整</td> </tr> <tr> <td>突 固 め 試 験</td> <td>JIS A 1122</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>締固め曲線をかけるだけの必要な個数(5~7点分) 3層 突固め回数各層</td> </tr> <tr> <td>修正 C B R 試 験</td> <td>JIS A 1210</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>19、42、92 各 3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>設計 C B R 試 験</td> <td>アスファルト舗装要綱</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td>42、92各層67回 各 3ヶ調整</td> </tr> <tr> <td>火山灰の強熱減量 試験</td> <td>土木工事共通仕様書</td> <td style="text-align: center;">1</td> <td style="text-align: center;">" 3ヶ調整</td> </tr> </tbody> </table>	試験の種類	試 験 方 法	試験回数	1 試料当たりの試験個数	含 水 量 試 験	JIS A 1203	1	3ヶ調整	ふるい分け試験	アスファルト舗装要綱 JIS A 1102参照	1	最大粒径により 1回調整	洗 い 試 験	土木工事共通仕様書 JIS A 1103	1	3ヶ調整	比重吸水量試験	JIS A 1109	1	2ヶ調整	すりへり減量試験	JIS A 1110	1	使用する表により 1回分調整	安 定 性 試 験	JIS A 1121	1	" 1回分調整	突 固 め 試 験	JIS A 1122	1	締固め曲線をかけるだけの必要な個数(5~7点分) 3層 突固め回数各層	修正 C B R 試 験	JIS A 1210	1	19、42、92 各 3ヶ調整	設計 C B R 試 験	アスファルト舗装要綱	1	42、92各層67回 各 3ヶ調整	火山灰の強熱減量 試験	土木工事共通仕様書	1	" 3ヶ調整	II-5-3 (II-103) ■諸基準類との整合
試験の種類	試 験 方 法	試験回数	1 試料当たりの試験個数																																																																																							
含 水 <u>比</u> 試 験	JIS A 1203	1	3ヶ調整																																																																																							
ふるい分け試験	アスファルト舗装要綱 JIS A 1102参照	1	最大粒径により 1回調整																																																																																							
洗 い 試 験	土木工事共通仕様書 JIS A 1103	1	3ヶ調整																																																																																							
<u>密 度 及 び</u> <u>吸 水 率 試 験</u>	JIS A 1109	1	2ヶ調整																																																																																							
すりへり <u> </u> 試 験	JIS A 1110	1	使用する表により 1回分調整																																																																																							
安 定 性 試 験	JIS A 1121	1	" 1回分調整																																																																																							
突 固 め 試 験	JIS A 1122	1	締固め曲線をかけるだけの必要な個数(5~7点分) 3層 突固め回数各層																																																																																							
修正 C B R 試 験	JIS A 1210	1	19、42、92 各 3ヶ調整																																																																																							
設計 C B R 試 験	アスファルト舗装要綱	1	42、92各層67回 各 3ヶ調整																																																																																							
火山灰の強熱減量 試験	土木工事共通仕様書	1	" 3ヶ調整																																																																																							
試験の種類	試 験 方 法	試験回数	1 試料当たりの試験個数																																																																																							
含 水 量 試 験	JIS A 1203	1	3ヶ調整																																																																																							
ふるい分け試験	アスファルト舗装要綱 JIS A 1102参照	1	最大粒径により 1回調整																																																																																							
洗 い 試 験	土木工事共通仕様書 JIS A 1103	1	3ヶ調整																																																																																							
比重吸水量試験	JIS A 1109	1	2ヶ調整																																																																																							
すりへり減量試験	JIS A 1110	1	使用する表により 1回分調整																																																																																							
安 定 性 試 験	JIS A 1121	1	" 1回分調整																																																																																							
突 固 め 試 験	JIS A 1122	1	締固め曲線をかけるだけの必要な個数(5~7点分) 3層 突固め回数各層																																																																																							
修正 C B R 試 験	JIS A 1210	1	19、42、92 各 3ヶ調整																																																																																							
設計 C B R 試 験	アスファルト舗装要綱	1	42、92各層67回 各 3ヶ調整																																																																																							
火山灰の強熱減量 試験	土木工事共通仕様書	1	" 3ヶ調整																																																																																							

北海道建設部測量調査設計業務等共通仕様書 新旧対照表

(新) 令和4年10月版	(旧) 令和3年10月版	頁 新(旧)
5-2 骨材の規格試験 5-2-1 含水 <u>比</u> 試験 本文 略	5-2 骨材の規格試験 5-2-1 含水量試験 本文 略	II-5-4 (II-104) ■諸基準類との整合
5-2-4 <u>密度及び</u> 吸水率試験 本文 略	5-2-4 比重・吸水量試験 本文 略	II-5-4 (II-104) ■諸基準類との整合
5-2-5 すりへり <u> </u> 試験 本文 略	5-2-5 すりへり減量試験 本文 略	II-5-4 (II-104) ■諸基準類との整合